

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	01 未来を支える人材を育むまちづくり
	小項目	施策	05 学校給食
事務事業名			02 学校給食運営事業
根拠法令・規程等			学校給食法
問担当課(室)			学校教育課
職・氏名			学事係・磯本宏幸
電 話			64-1840

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	小・中学校の児童生徒
目 的 (何のために)	安全で栄養のある給食を提供する。
行 政 活 動 (どのような方法で)	学校給食従事者の研修会参加 調理員及び給食施設、食材の衛生検査、給食の保存食に係る必要経費の負担 学校給食の運営にかかる負担金の支出
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	給食に従事する職員が健康な状態で安全な給食を提供することができるようにする。

事業の実績					
活 動	実 施 項 目				
	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
	学校給食職員研修回数	回	11	12	14
実 績	研修会参加延べ人数	人	189	254	329
	検便実施者延べ人数	人	1,730	1,503	1,595
	事業費	千円	2,411	2,362	2,396
財 源	必要人員	人	0.05人	0.08人	0.02人
	必要人員費	千円	475	745	189
	事業費計	千円	2,886	3,107	2,585
	国 県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担 金	千円			
受 益 者 負 担 比 率	総 入 金	千円			
	市 債	千円			
	そ の 他 ()	千円			
一 般 財 源	千円	2,886	3,107	2,585	
受 益 者 負 担 比 率	%				

結果指標名				
結果指標①	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標量	人	189	254	329
対 前 年 比	%	-	134.4%	129.5%
活 動 コ ス ト	円	212,500	142,000	51,000
単 位 当 たり コ ス ト	円	1,124	559	155
結果指標②	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標量	人	1,730	1,503	1,595
対 前 年 比	%	-	86.9%	106.1%
活 動 コ ス ト	円	2,613,000	2,944,000	2,534,000
単 位 当 たり コ ス ト	円	1,510	1,959	1,589

事業の成果					
成 果 指 標 名	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
学校給食職員の1回あたりの研修参加人数(人)	目標値(A)	20	20	20	20
	実績値(B)	18	21	23	到達目標年度
	達成率(B/A)	0.9	1.05	1.15	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
学校給食職員研修会参加延べ人数/研修会数					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市 民 二 ニ ュ ー ス	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	児童生徒に安全で栄養のある給食を提供するため、衛生管理は必須のことであり、衛生管理や献立等について研修を重ねることは必要である。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 説明 <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効 率 性 の 評 価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	衛生管理を行う業者への委託は、入札によりコストの削減を図っている。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	保健所が実施する事業や検査を委託している業者の研修会を活用し研修内容の充実を図りたい。
有 効 性 の 評 価	市民参画度		
	市民参画度		
		効率性評価<A~E>	B
		有効性評価<A~E>	B

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
状況		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
説明			○			
安全な学校給食の提供のため、本事業は継続的に実施していく必要がある。						

総合評価		評価区分<A~E>
食の安心への関心が高まり、食育の推進が求められる中、学校における食育を推進する上で重要な役割を担う学校給食のあり方を考え、学校給食職員の資質の向上を図ることは必要である。		B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明		○				
改善がある場合	学校給食法に基づき実施しており、食の安全への関心が高まるなか、本事業は継続的に実施する必要がある。					
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			